

【会津若松市】

ネットワーク整備計画

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

文部科学省が令和6年4月に公表した「学校のネットワーク改善ガイドブック」による「学校規模ごとの当面の推奨帯域」と本市が令和5年度に調査したネットワーク速度と比較した結果は以下のとおり。

学校数：小学校 17 校

中学校 9 校

義務教育学校 2 校（河東学園、湊学園※）

合計 29 校 ※湊学園は、前期課程と後期課程で校舎が分かれているため、学校数の合計は、便宜上、前期課程 1 校、後期課程 1 校と別々にカウントすることとし、合計は 29 校とする。

「当面の推奨帯域」を満たす学校数：10 校（約 34.5％）

2 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

令和3年度までは各学校を1つの回線に集約する「集約型回線」でインターネットを利用していたが、大きな遅延が生じていたためトラフィック量を調査したところ、帯域の上限まで利用している状況であった。そのため、令和3年度から令和4年9月にかけて、湊、大戸地区以外の学校は、1 Gbps のベストエフォート型の回線にてローカルブレイクアウトする構成に変更するとともに、変更後の確認のため改めて各学校のネットワークアセスメントを実施した。

（2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

（ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール）

現時点での各学校のインターネット利用に大きな支障は出ていないものの、文部科学省が示す「当面の推奨帯域」に満たない要因はインターネット回線速度によるところが大きい。

「当面の推奨帯域」を満たすことや将来的な通信量の増大に対応していくため、今後、本市エリアにおいて 10Gbps のベストエフォート型の回線サービスの提供が開始されるようになった段階で、回線契約の切り替え等を検討する。